

PM<sub>2.5</sub> の日平均値の累積度数分布

PM<sub>2.5</sub> の濃度分布を特徴付けるための 1 つの方法として、日平均値の累積度数分布を作りその分布形を示した。ここでは、対数正規確率紙にプロットした。

図には、足立区綾瀬、多摩市愛宕、永代通り新川（2015 年度までは京葉道路亀戸）、甲州街道国立のプロット（2014~2018 年度）を示した。全体として日平均値は低下傾向にあり、2018 年度はどの地点においても 2014 年度からの 5 年間で最も低濃度側にシフトしている。特に綾瀬は 2017 年度に比べても低濃度域に分布が移動しており経年的に濃度が低下していることが伺えた。その他の地点は 2017 年度に比べて同等か、あるいはやや低濃度に移動する傾向が見られた。

